

第29回日本高齢者大会 in 和歌山 大会決議

安倍政権は、国民の8割が「説明不足だ」「今国会で成立させるべきではない」としているにもかかわらず本日参議院特別委員会の質疑を打ち切り、戦争法案を強行採決しようとしています。

日本高齢者大会の参加者一同は、この暴挙に怒りを込めて抗議します。

この間国民の世論は大きく広がり、これまで政治には消極的と言われていた若者や高校生もたちあがり、戦争によって青春時代を奪われた高齢者が「二度と戦争はごめん」と戦争法案反対を呼びかけています。8月30日の12万人の国会包囲行動行など「安倍内閣による平和と民主主義への戦後最悪の攻撃許すな！」と、全国津々浦々で史上最大の運動が広がり続けています。

一方安倍政権は、安心できる老後を破壊する社会保障制度の改悪を推し進めています。

昨年4月からの消費税8%への増税、年金の削減、「医療・介護総合確保法」による医療費の自己負担増や介護保険料の値上げなどが、高齢者のくらしを直撃しています。

また、国がすすめる「地域包括ケア」は、自助、共助が基本とされ「高齢者の介護は本人と家族でやるべきこと」として国の責任を放棄するものになっています。

日本中の原発稼働ゼロは700日続きました。原発がなくとも電力は足りています。ところが未だに10万人以上の人が見通しのつかない避難生活を続けている東京電力福島第一原子力発電所事故の現実に目を背けたまま、川内原発が再稼働しました。こんな人命軽視、民意無視の政治は許せません。

私たち高齢者は、あの悲惨な戦争体験と戦後の厳しい生活の中で「戦後70年 憲法をいかし、格差のない公正な社会を」をかかげ、「戦争をする国」にさせないために以下の行動に取り組みます。

- ① 積極的に戦争と戦後の体験を語り、引き続き戦争法案反対の世論を広げます。
- ② 年金、医療、介護など高齢者のくらしの実態を明らかにし、多彩な要求実現運動に取り組みます。
- ③ 全国各地で高齢者の願いを実現するため地域連絡会づくりをすすめます。

以上決議します。

2015年9月16日

第29回日本高齢者大会 in 和歌山